

高校生の 広場

Plaza of high school students

地域医療講演会

2024年8月3日(土)に地域医療講演会を開催しました。

今回は、おつか生協クリニック所長の浜田暁子医師にご講演頂きました。

講演では、「私の医師人生と地域医療」と題して、浜田先生の経験をもとに医療の目的・患者さんへの向き合い方・医師として大切な事についてお話し頂き高校生に分かりやすくメッセージを送っていただきました。

医師質問コーナーでは、宮崎生協病院小児科医松尾医師をはじめ2年目研修医の甲斐仁人医師、黒木研吾医師、1年目初期研修医の荒武諒河医師、斎藤優敬医師も加わり、高校生の皆さんから多くの質問を頂きました。高校生からは受験勉強や医学部での生活の事など様々な質問が寄せられ、それに一人一人丁寧に回答を行いました。終了後も個別に質問に来る学生、保護者の方の姿も見られ、皆さんの医学部、医師を目指す強い気持ちが伝わる企画でした。



地域医療講演会会場全体



講演後医師に質問する学生も!



研修医に質問

〈参加者の感想〉

- ・患者さんの病気だけではなく生活背景や社会背景にも目を向けて治療をしていくことが患者さんの笑顔につながる事を知れた。
- ・企画に参加し医師になりたいという気持ちが強くなった。
- ・医師への質問コーナーでは大変だったことや大学に入学するために必要な事を聞いて大学に入学したときの自分を想像することが出来ました。
- ・受験勉強のモチベーションが上がりました。またこのような企画があれば是非参加したい。

模擬面接

10月5日、12日に今年度医学科を受験する方を対象に、集団面接の練習を行いました。

本番さながらの面接練習で、高校生も緊張した面持ちで参加していました。模擬面接終了後は現役の医学部生と懇親する時間も設けています。緊張がほぐれ、楽しく交流を行う姿が見られました。



模擬面接の様子

〈参加者の感想〉

- ・面接ならではの雰囲気を感じる事ができ、本番に備えてとても良い練習となりました。
- ・自分があまり話すことが出来ないという事に気づくことができた。事前に大学の情報収集をしてどんな質問にも冷静に対応できるようにしておきたいと思う。
- ・学校での面接練習が始まっていないなかの参加だったが自分の今の実力を知ることができるいい機会だった。
- ・アドバイザー(宮崎大学)の方に大学のことや勉強方法なども聞いて良かったです。

模擬面接後交流会の様子



看護学生の 広場

Plaza of nursing student

フードパントリー

FOOD PANTRY

フードパントリーとは

生活に困っている人々に
食料を無料で配布するための地域の拠点、
フードドライブとは食べきれずに余っている食材を
破棄せず必要なところに
品物が届くようにすることです。

配布食材は、医療生協職員、地域の方々、組合員の皆さん、フードバンクみやざき様や企業様からのご協力頂いております。毎回10名程度の学生が参加し、現在まで200人を超える学生へ食材支援を行いました。学生からも好評で、リピーターとなっている方も多く、学校生活やプライベートの相談をしてきたりして職員と学生さんとの交流の場ともなっています。



私たちは、医療や介護・福祉に従事する専門家として「安心して住み続けられるまちづくり」の運動を行っています。さまざまな団体や個人の連携と共同の輪の広がりのなかで、要求実現の取り組みが行われています。協同という言葉には、「心をあわせ助け合い共に仕事をする」という意味があります。私たちは地域の方々と協力しながら「安心のまちづくり」実現を目指しています。



現在では開催地を広げ、
第1金曜日(宮崎生協病院横)
第2金曜日(このはな生協クリニック)9月~開催
第4金曜日(医系学生サポートセンター)
にて実施しております。

学生からは「アルバイト収入が減って生活費が足りなかった、とても助かる。」「実習などで忙しいので助かります」「生理用品や日用品などあり助かります。」などの声を頂いています。食材支援という小さな支援しかできませんが、少しでも安心して学習ができる環境を今後も支援の継続をしていきたいと思っています。